

赤星

月刊

11月2002年 No.20 (通巻362号)

本号300円 (毎月1日発行)
年間購読料 1部3000円 (送料別)
(送料) 密封1000円 開封800円

THE SEKISEI (RED STAR/ROTE STERN)

編集 共産主義者同盟 (DER BUND DER KOMMUNISTEN)

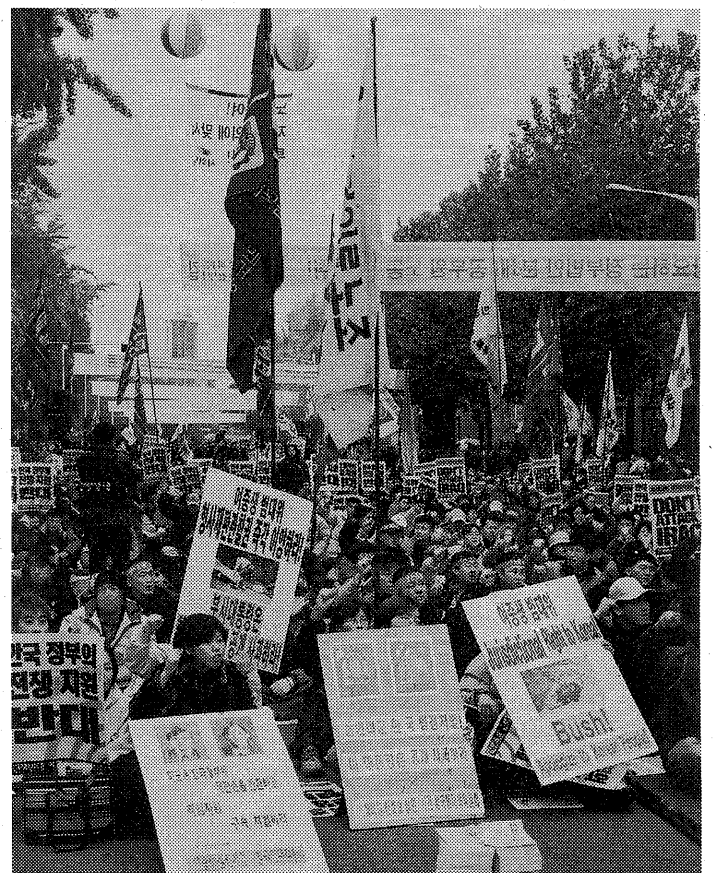
発行所 蜂起社 東京都江東区大島3-9-25/TEL 03-5626-8262
(関西支社)大阪市北区菅栄町10-10 岸本ビル/TEL 06-6357-6975
発行人 南 安明 <振替> 00120-2-1512 蜂起社・南安明

紙面案内

- ① 石油のためのイラク攻撃を許すな
- ② パレスチナ現地交流リポート
- ③ 韓国訪問報告/ジョゼ・ボベ来日
- ④ 10・14闘争/三里塚/山岳

お知らせ 次号は新年号につき12月28日発行です。

日韓労働者の国際連帯で反グローバリズムを！ 新たなインターナショナルな変革へ



11. 10韓国民主労総主催の全国労働者大会
(左)ソウル大学路を埋め尽くした韓国の労働者3万人
(右)米軍による女子中学生薬殺糾弾の前段集会
(報告記事は3面に)

石油のためのイラク攻撃を許すな！ Don't attack Iraq!

米帝ブッシュ政権による石油のための対イラク攻撃の戦争の狙いは、石油権益が一段と切迫する情勢にあつて、日本の労働者人民は、11月日韓労働者連帯行動を通じて切り拓かれた反グローバリズム・反帝国主義の闘いを前進させ、パレスチナアラブ人民、そして全世界のプロレタリアートと連帯し、今こそイラク攻撃阻止の反戦闘争と新たなインターナショナルな変革へのうねりを創り出していかねばならない。

国連安全保障理事会が11月8日、イラクに大量破壊兵器査察の全面受け入れを迫る決議を採択したことによつて、米ブッシュ政権は、イラク攻撃に向けて一段と拍車をかけている。この国連の対イラク決議の数分後、米大統領ブッシュは、「無条件かつ速やかな決議順守を求める。さもなければ重大な結果を招く」と早期の攻撃の可能性を示唆しイラク政府を恫喝した。

米英両国がイラク・フセイン政権打倒に向け、攻撃準備を進め軍事的な圧力を強めている中で、イラク政府は、11月13日、国連決議の無条件受け入れを表明した。これによりとのあえずブッシュ政権は、当面イラクに先制攻撃を仕掛けるのをあきらめ、フセイン政権の出兵を見る他ないだろう。

だが、先の中間選挙で上下両院での主導権を確立したブッシュは、すでに最大25万人の兵力を動員する対イラク戦争計画をまとめていると言われており、「査察強化」どころでもなく(あくまでも口実に通きない)、フセイン体制転覆を戦争目的にしている。明らかに石油のための対イラク攻撃の戦争の狙いは、石油権益の確保にあるからだ。そもそも米帝は、武力行使にお墨付きを得るための手段としてしか国連を見ていない。

ところが米帝主導による「反テロ戦争」を軸にした「国際協調体制」にほころびが目立ってきた。昨年の「9・11テロ事件」直後には「反テロ」「テロとの戦い」で対アフガニスタン攻撃を強く支持した欧州同盟国(とりわけ独・仏)から「ドクトリン」に対して強い反発が生まれている。「テロリスト」よりも「先制攻撃ドクトリン」を前面に打ち出した米国の一国中心主義(ユニラテラリズム)の方が見えなくなっている。石油権益と深い関係にあるブッシュや副大統領チェイニーらの思惑を考慮すると「ホワイトハウスの頭にあるのは石油である」といえることが極めて説得力を持つ(「アンドリュース」教授、11月10日)。

米国の戦後中東政策は、イスラエルを守る後ろ盾となるだけでなく、中東における反米色の濃いアラブ民族主義を叩くことによつて、中東における軍事プレゼンスと戦略物資である石油資源を確保することを柱にしてきた。ところが、このような石油権益の確保という戦略上重要な米の中東政策にとって、「パレスチナ問題」が深く突き刺さった「トゲ」になっていくとなかなか抜けないでいるというわけだ。

(2面に続く)



IV

現地交流
レポート

再占領に苦悩し
怒れるパレスチナ

檣 渡

私たちは希望を失わない
ベツレヘムの人々の声

6月11日、私たちはエルサレムのすぐ南にある街・パレスチナへの暴力にもベツレヘムを訪ねた。非暴力運動団体のPCRの事務所で代表者から話を聞く。彼は「1988年、イスラエルの占領を終わらせパレスチナを解放するための非暴力抵抗運動団体として、パレスチナ人とイスラエル人との組織PCRを設立した。私たちは、他のパレスチナ武装組織に反対しているわけではない。ただ市民の命を大切に非暴力という手段で抵抗する道を選んでいるだけだ。(自爆攻撃の評価について)よ



極右シオニストの入植者に占拠されたヘブロン旧市街

希望がなければ人生はない、ということだ」と語り、ぜひ私たちのこのメッセージを日本の人々に伝えてほしいと訴えた。この後、私たちはベツレヘム大学を訪ね、副学長の案内で構内を見学したり、食堂で学生たちと懇談した。学生数は200人、女性が65%。たしかにキャンパスは女子学生が多く明るい雰囲気だった。屋上から市内を一望すると、丘の上に入植者の街が作られているのが見えた。その丘と丘の間に大きな橋が架けられ、イスラエル人専用のバイパスをつないでいる。パレスチナ人はここを通ることができない。パレスチナ版「アパルトヘイト」(人種隔離政策)を象徴する光景がここにもあった。

をどった後、私たちはイエス・キリストが生まれた場所として有名な聖誕教会に向かった。教会はカトリックとギリシア・ロシア・アルメニアの正教によって共同で管理されているという。中に入るも厳肅な歴史を感じさせる建物であることが分かる。夕方、私たちはこの日の宿泊地であるドゥヘインヤ難民キャンプのイフタ・センターを訪ねた。ここでNGOのサミー・アワードさんとミーティング。彼は「皆さんがここにいること自身が、パレスチナにとって非常に重要なこと。私たちは忘れられない、見捨てられない、ない」と語った。この後、イフタを舞台にして2001年に製作された映画「夢と恐怖のはざま」が上映された。この映画は、ベツレヘムのドゥヘインヤとレバノン・ベイルートのシャティーフの国境を隔てた難民キャンプに住む2人の少女とその仲間たちとの間の交流と友情、その絆を哀歌を込めて詩情豊かに描いたドキュメンタリーだ(監督はパレスチナ人のメイ・マスリ)。少女らが国境の金網越しに出会うシーンには胸が詰まった。故郷と同胞から引き裂かれて生きるパレスチナ難民の境遇を象徴する場面だった。

ドゥヘインヤの街もイスラエル軍の戦車による銃砲撃を受けて住居がいたるところで破壊されていた。ガッサン・カナファアーニ(72年7・8にイスラエルに暗殺された作家でありPFLPの機関誌編集長の肖像が描かれた壁にも銃弾を浴びせられた痕があった。は、シオニズムを信じ込むことによって、パレスチナ人への敵愾の心を植え付けられ、現実の政治状況を単純化し、イスラエルの行っている軍事占領と入植地の拡大、そしてパレスチナへの迫害を正当化して理解しているのだらう。

6月12日、私たちは最後も監視カメラが設置されている訪問地であるパレスチナ西岸地域最南部の街・ヘブロンに向かった。ベツレヘムからヘブロンに入るチェック・ポイント(検問所)で、イスラエル兵に「安全を保障できない。昨日まで戦闘があった」との理由で通過を拒否された。やむを得ず別ルートで入ることになった。ヘブロンは、この日、市内・中心街の市場は、すごい人で、た返し衣類や野菜、くたものを並べた屋台も買物客でにぎわっている。人口約14万人でエルサレムに次ぐ規模の街だけのことはある。IPYL(国際パレスチナ青年同盟)のDさんの案内で市内を見学する。ヘブロンには、米国外身でイスラエルとの二重国籍を持つ非常に攻撃的な一団が前にパレスチナ人を襲撃し虐殺している。極右シオニスト(公式には521人)が、市の中心部に入植しており、この入植者を守るために約3千人のイスラエル兵が駐留しているという。有刺鉄線が張りめぐらされイスラエル軍の監視所がいたるところに設けられている。

私たちは、アラハムの墓がありイスラム教の聖地とされているイブラヒム・モスクを見学した。驚いたことに、これもイスラエル軍の管理下に置かれ、2カ所の検問所で厳重に警備されている。モスクの内部には、あのユダヤ人の少年(現状)を見つめ直すのに、パレスチナ人ほどいい「鏡」はないとも感じた。イスラエルに行き、そこで見たこと、聞いたこと、考えさせられたこと、そして私の胸に響いたパレスチナの人々の声を、日本で「新たな一歩」を踏み出しネットワークを世界中に張りめぐらそう。(完)

「9・11以降、正義をかざした米国の主導する「反テロ戦争」は、皮肉なことにパレスチナ問題を国際情勢の焦点に押し上げた。同時に、パレスチナ民衆の抵抗運動に、抑圧と貧困からの解放を求める世界

ナに自由を、国際連帯を!

イスラエルの軍事占領下にあるパレスチナは、「アパルトヘイト」という他ない苛酷な抑圧状況に置かれていた。第2次インティファダ(イスラエルの占領に抵抗する民衆蜂起)が始まってこの2年間で、2千人近くのパレスチナ人がイスラエル軍によって殺害されている。土地を奪われ、自由を奪われ、命さえ奪われる凄まじい迫害にさらされるながら、またいくつもの国境に隔てられながらも、いくつもの抑圧を越えて生きてきたパレスチナの人々。その苦しみ、怒りに私は直に触れてきた。とても言葉には言い表せない何か、今もやけに重たく心の奥底に残っている。パレスチナに何か「忘れ物」でもして来たような、そんな思いに駆られている。

私たち日本からの訪問者まででも歓迎してくれたパレスチナの人々(とりわけ子供たち)の明るくおどやかならから、故郷の町から追い出されたパレスチナ人であればどれだけ心が傷つけられ暗然とした気分になったらうか、と思うだろう。ちっぽけなことに余りにも囚われてはいないか」と心の中で自らに問いかけながら自分たちの足元

中の民衆の闘いを代表する存在として最後の抵抗の岩の役割と、また「反テロ戦争」の欺瞞性を照らし出す一つの極としての役割を与えた、と言ったことができた。したがって、「パレスチナに自由を」というスローガンは、国際連帯運動や反テロバリズムを担うミリタント(闘士)にとっても共通の闘いの合言葉となっている。実際、イラク攻撃に反対する全世界の反戦運動の拡大も、9・28ロンドンで40万人、ローマで10万人、10・26ワシントンで10万人等の中で、「石油のために血を流すな」というプラカードとともにパレスチナの旗が掲げられ「パレスチナに自由を」というスローガンが叫ばれている。

我々も11月8日から3日間わたって韓国を訪問し民主労総との交流・懇談を行い、ソウルで開催された11・10全国労働者大会に参加してパレスチナの旗を掲げデモを行った。グローバル・リゼーションと闘うには、労働運動・社会運動が国境を越えて実際に連帯することだ。新たなインターナショナルな変革のために。

赤井隆樹

韓国訪問 民主労総と交流・連帯

全国労働者大会へ参加

11月8日、11日、韓国民

主労総との交流・連帯、チ

ョン・テイル焼身決起32カ

年全労働者大会への参加

のため、我々にとっては初

の韓国訪問が実現した。

今回は、AWCアジア

共同行動日本連呼びかけ

とサポートによる訪問団に

参加し、韓国の労働運動に

学びともに新自由主義グロ

ン・テイル焼身決起32カ
年全労働者大会への参加
のため、我々にとっては初
の韓国訪問が実現した。
今回は、AWCアジア
共同行動日本連呼びかけ
とサポートによる訪問団に
参加し、韓国の労働運動に
学びともに新自由主義グロ
ン・テイル焼身決起32カ
年全労働者大会への参加
のため、我々にとっては初
の韓国訪問が実現した。
今回は、AWCアジア
共同行動日本連呼びかけ
とサポートによる訪問団に
参加し、韓国の労働運動に
学びともに新自由主義グロ

ン・テイル焼身決起32カ
年全労働者大会への参加
のため、我々にとっては初
の韓国訪問が実現した。
今回は、AWCアジア
共同行動日本連呼びかけ
とサポートによる訪問団に
参加し、韓国の労働運動に
学びともに新自由主義グロ
ン・テイル焼身決起32カ
年全労働者大会への参加
のため、我々にとっては初
の韓国訪問が実現した。
今回は、AWCアジア
共同行動日本連呼びかけ
とサポートによる訪問団に
参加し、韓国の労働運動に
学びともに新自由主義グロ

ン・テイル焼身決起32カ
年全労働者大会への参加
のため、我々にとっては初
の韓国訪問が実現した。
今回は、AWCアジア
共同行動日本連呼びかけ
とサポートによる訪問団に
参加し、韓国の労働運動に
学びともに新自由主義グロ
ン・テイル焼身決起32カ
年全労働者大会への参加
のため、我々にとっては初
の韓国訪問が実現した。
今回は、AWCアジア
共同行動日本連呼びかけ
とサポートによる訪問団に
参加し、韓国の労働運動に
学びともに新自由主義グロ

ン・テイル焼身決起32カ
年全労働者大会への参加
のため、我々にとっては初
の韓国訪問が実現した。
今回は、AWCアジア
共同行動日本連呼びかけ
とサポートによる訪問団に
参加し、韓国の労働運動に
学びともに新自由主義グロ

ン・テイル焼身決起32カ
年全労働者大会への参加
のため、我々にとっては初
の韓国訪問が実現した。
今回は、AWCアジア
共同行動日本連呼びかけ
とサポートによる訪問団に
参加し、韓国の労働運動に
学びともに新自由主義グロ
ン・テイル焼身決起32カ
年全労働者大会への参加
のため、我々にとっては初
の韓国訪問が実現した。
今回は、AWCアジア
共同行動日本連呼びかけ
とサポートによる訪問団に
参加し、韓国の労働運動に
学びともに新自由主義グロ

ン・テイル焼身決起32カ
年全労働者大会への参加
のため、我々にとっては初
の韓国訪問が実現した。
今回は、AWCアジア
共同行動日本連呼びかけ
とサポートによる訪問団に
参加し、韓国の労働運動に
学びともに新自由主義グロ
ン・テイル焼身決起32カ
年全労働者大会への参加
のため、我々にとっては初
の韓国訪問が実現した。
今回は、AWCアジア
共同行動日本連呼びかけ
とサポートによる訪問団に
参加し、韓国の労働運動に
学びともに新自由主義グロ

ン・テイル焼身決起32カ
年全労働者大会への参加
のため、我々にとっては初
の韓国訪問が実現した。
今回は、AWCアジア
共同行動日本連呼びかけ
とサポートによる訪問団に
参加し、韓国の労働運動に
学びともに新自由主義グロ
ン・テイル焼身決起32カ
年全労働者大会への参加
のため、我々にとっては初
の韓国訪問が実現した。
今回は、AWCアジア
共同行動日本連呼びかけ
とサポートによる訪問団に
参加し、韓国の労働運動に
学びともに新自由主義グロ

ン・テイル焼身決起32カ
年全労働者大会への参加
のため、我々にとっては初
の韓国訪問が実現した。
今回は、AWCアジア
共同行動日本連呼びかけ
とサポートによる訪問団に
参加し、韓国の労働運動に
学びともに新自由主義グロ



11月9日。熱気みなぎるキョンヒ大学での前夜祭。



11月10日。パレスチナの旗を掲げソウル市内をデモ。

中学生機銃弾効・イラク攻
撃反対の集会が開かれる。
本大会は、歌や踊りを合
間に交えながら、アピ
ルがなされ、気迫が全参加
者にみなぎる。連帯のアピ
ルでは、外国人労働者、
「障害者」、非正規労働
者（非正規職はすでに5割
を下回る）からなされ、本
工主義を越えた労働運動を
目指す民主労総の姿勢が伝
わってくる。続いて、大会
基調が提起され、ジョン・
テイルさんと闘い半ばにし
て斃れた仲間を追悼して黙
祷が行われた。ジョン・テ
イルさんの母イ・ソンさん
からは、全労働者が心を
一つにして闘えば韓国は解
放されると力強いメッセー
ジが送られる。また、日本
訪問団を代表して全労協議
長よりアピル。12月の大
統領選に民主労働者から出
馬するジョン・ヨンギル候
補（初代民主労総委員長）
からあいさつ。そして
「この世を、覆せ！」の
文字が書かれた巨大な赤旗
が登壇し演壇に上げられる
や、熱気は最高潮に達した。
大会は最後に、ジョン・テ
イル烈士の精神継承、新自
由主義と対決、三大悪法攻
撃粉砕、非正規職への差別
撤廃、労働者の力で未来を
切り拓こうなどの決議を全
体で確認し、デモンストレ
ーションに出発。デモは、
大通りを埋め尽くし、我々
はパレスチナの旗を掲げ共
に行進した。夜は訪問団と
民主労総との夕食交流会が
行われ、その後、野宿者が
集まるエリアの案内もされ
るなど、最後まで充実した
取り組みとして終えること
ができた。（詳細な報告に
ついては次号に）（藤川）

「希望をグローバル化するために 闘いをグローバル化しよう」

ジヨゼ・ボベ来日講演



フランス農民運動のリー
ダーとして、世界の反グロ
ド「解体」闘争の件で収監
され、さらにこの11月には
うジョゼ・ボベの初来日講
演が、東京、大阪をはじめ
各地で勝ち取られた。
ボベは今年、マクドナル
ド「解体」闘争の件で収監
され、さらにこの11月には
うジョゼ・ボベの初来日講
演が、東京、大阪をはじめ
各地で勝ち取られた。

ボベは今年、マクドナル
ド「解体」闘争の件で収監
され、さらにこの11月には
うジョゼ・ボベの初来日講
演が、東京、大阪をはじめ
各地で勝ち取られた。
ボベは今年、マクドナル
ド「解体」闘争の件で収監
され、さらにこの11月には
うジョゼ・ボベの初来日講
演が、東京、大阪をはじめ
各地で勝ち取られた。



地球は売り物ではない！ もう1つの世界は可能だ！
ジョゼ・ボベさんと大いに語る東京集会

ボベは今年、マクドナル
ド「解体」闘争の件で収監
され、さらにこの11月には
うジョゼ・ボベの初来日講
演が、東京、大阪をはじめ
各地で勝ち取られた。

ボベは今年、マクドナル
ド「解体」闘争の件で収監
され、さらにこの11月には
うジョゼ・ボベの初来日講
演が、東京、大阪をはじめ
各地で勝ち取られた。
ボベは今年、マクドナル
ド「解体」闘争の件で収監
され、さらにこの11月には
うジョゼ・ボベの初来日講
演が、東京、大阪をはじめ
各地で勝ち取られた。

ブッシュの「対テロ」戦争拡大を許すな 10.14反帝国際連帯掲げ闘う



10・13三里塚。労働者全国実のデモ隊。
10・14恵比寿区民会館。発言する鶴岡哲さん。

10月14日、「ブッシュの「対テロ」戦争拡大を許すな」の即時中止を求め、有事法制一改憲阻止の抗議デモが各地で展開された。本集会は、約1500名の参加者で恵比寿区民会館で開かれた。

米帝の「対テロ」報復戦争（アフガン爆撃開始と同時に）、反帝国際主義を掲げた共同闘争として実行委員会を形成してちょうど1年、ブッシュによる「対テロ」戦争のさらなる拡大、イラク侵略戦争への着手が迫るなか、小泉政権も有事法制の成立を目前という状況にあって、この日は今秋期における反戦闘争の行動のスタートを切る闘いとして呼びかけられた。

集会に先立ち、午前中はアメリカ大使館への抗議行動が取り組まれた。虎の門に結集した抗議団がアメ大正門近くまで向かうや、警察力は強引に排除に乗り出す。抗議団は一步もひるまず、アメ大前で弾劾の声を叩きつけ、全ての「対テロ」戦争の即時中止を求め、有事法制一改憲阻止の抗議デモが各地で展開された。

暫定滑走路延伸を許すな 10・14三里塚現地に決起



10月13日、三里塚現地にあって敷地内の騒音・排ガスを被害を訴えるとともに、有事立法反対、10・13怒りがみなぎる。

鈴木幸司さんの開会宣言で始まった集会では、北原敏治事務局長より基調提起として、暫定滑走路の北側延伸を許さず、反私全世の人々とともに闘うと決意を表明された。東峰の秋原進さんは、騒音・排ガス攻撃に屈せず勝利を闘い抜く姿勢を示すとともに、暫定滑走路の延伸を許さず、読売新聞の悪質極まりない報道を弾劾した。婦人行動隊からは、秋原静江さんと鈴木加代子さんが発言し、ともにデモを貫徹した。

10月13日、三里塚現地にあって敷地内の騒音・排ガスを被害を訴えるとともに、有事立法反対、10・13怒りがみなぎる。

鈴木幸司さんの開会宣言で始まった集会では、北原敏治事務局長より基調提起として、暫定滑走路の北側延伸を許さず、反私全世の人々とともに闘うと決意を表明された。東峰の秋原進さんは、騒音・排ガス攻撃に屈せず勝利を闘い抜く姿勢を示すとともに、暫定滑走路の延伸を許さず、読売新聞の悪質極まりない報道を弾劾した。婦人行動隊からは、秋原静江さんと鈴木加代子さんが発言し、ともにデモを貫徹した。

成功した集会の報告と今後を叩きつけ、全ての「対テロ」戦争の即時中止を求め、有事法制一改憲阻止の抗議デモが各地で展開された。本集会は、約1500名の参加者で恵比寿区民会館で開かれた。

米帝の「対テロ」報復戦争（アフガン爆撃開始と同時に）、反帝国際主義を掲げた共同闘争として実行委員会を形成してちょうど1年、ブッシュによる「対テロ」戦争のさらなる拡大、イラク侵略戦争への着手が迫るなか、小泉政権も有事法制の成立を目前という状況にあって、この日は今秋期における反戦闘争の行動のスタートを切る闘いとして呼びかけられた。

STOP! 有事法制大集会

午後2時、代々木公園サッカー場
呼びかけ：陸海空港20団体など

シンポジウム
「戦争と治安・管理」から
自らを解き放とう!

午後2時、中央大学駿河台記念館
主催：シンポジウム実行委員会

下層労働者の怒りを組織し 反グローバリズム運動の誓い!

今こそ先達の苦闘に学び
下層労働者運動の前進を

90年代初頭に、寄せ場が上から「強制排除」阻止、「屋根と仕事をよこせ」をスローガンに底辺下層労働者運動が10年近い時を刻み込んできた。この10年の地味な苦闘に学び、下層労働者運動の前進を

この間の山谷を中心とした反グローバリズム運動の取り組み、信島、寿で80年代から蓄積してきた労働力量の担保もいままでは改良主義の泥沼へと落ち込んでしまつたのは火を握るより明らかだ。

元「山統労」の「ふるさと会」が労働運動を清算して、活動家の延命のために、行政の下請けとなり、労働者管理と運動体への敵対を重ねている姿は醜悪の一語に尽きる。

行政にはキツパリと労働者の要求を叩きつけ、同時に自治体労働者には労働運動への再生をかけて社会運動の場に出、共に闘うことを呼びかけよう。NPO運動体にも自らの自己点検回路を育成することを促す義務がある。

その環は新自由主義に抗する反グローバリズム運動を寄せ場に、路上に根づかせる処にある。日雇全協の下層労働者運動の再生・飛躍に向けて共に奮闘しよう。

(荒木剛)

下層労働者運動の怒りを組織し、反グローバリズム運動の誓い!

90年代初頭に、寄せ場が上から「強制排除」阻止、「屋根と仕事をよこせ」をスローガンに底辺下層労働者運動が10年近い時を刻み込んできた。この10年の地味な苦闘に学び、下層労働者運動の前進を

この間の山谷を中心とした反グローバリズム運動の取り組み、信島、寿で80年代から蓄積してきた労働力量の担保もいままでは改良主義の泥沼へと落ち込んでしまつたのは火を握るより明らかだ。

元「山統労」の「ふるさと会」が労働運動を清算して、活動家の延命のために、行政の下請けとなり、労働者管理と運動体への敵対を重ねている姿は醜悪の一語に尽きる。

行政にはキツパリと労働者の要求を叩きつけ、同時に自治体労働者には労働運動への再生をかけて社会運動の場に出、共に闘うことを呼びかけよう。NPO運動体にも自らの自己点検回路を育成することを促す義務がある。

その環は新自由主義に抗する反グローバリズム運動を寄せ場に、路上に根づかせる処にある。日雇全協の下層労働者運動の再生・飛躍に向けて共に奮闘しよう。

(荒木剛)